

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



# Financial Report

第91期中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



# Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

---

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research（研究・開発）、Service（サービス）、Technology（技術）において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

# (a:resti)

これからは、より質の高い  
Research, Service, Technologyを  
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、Rは単に研究・開発だけでなく、どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点で、そしてTはこのRとSをささえる知識と技術を考えています。この社名に込められた企業理念を大切に生かし、様々な製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
四半期連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要	10

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第91期第2四半期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長

高橋 新

経営  
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、  
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

## (1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて作ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では『『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざす』ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針（1012 3ヵ年アーレスティ方針）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。

## (2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

## コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

## 環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
  - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
  - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
  - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
  - ④CO<sub>2</sub>排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
  - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

## 事業の概況

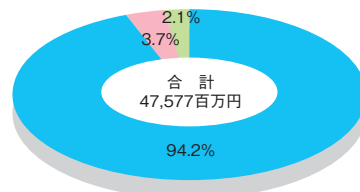
### ■企業集団の事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直しや各種政策効果などを背景に景気は持ち直しつつあります。ただし、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、海外景気の下振れリスクや為替レートの変動等による景気悪化懸念があります。

海外においては、米国では極めて弱い景気回復になっており、景気の下振れリスクがあります。中国およびインドでは内需を中心に拡大傾向が続くと見込まれます。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高47,577百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業損失421百万円（前年同四半期は営業利益2,304百万円）、経常損失470百万円（前年同四半期は経常利益2,159百万円）、四半期純損失547百万円（前年同四半期は四半期純利益1,755百万円）と減収減益となりました。

### ■事業別売上の状況

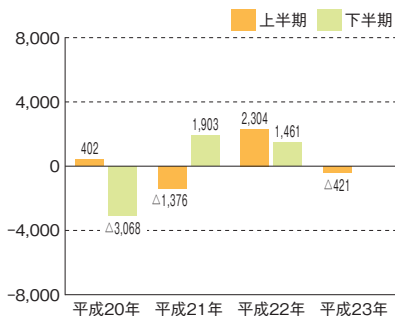


ダイカスト	44,835百万円
アルミニウム	1,758百万円
完成品	983百万円

### ■業績の推移 (連結)

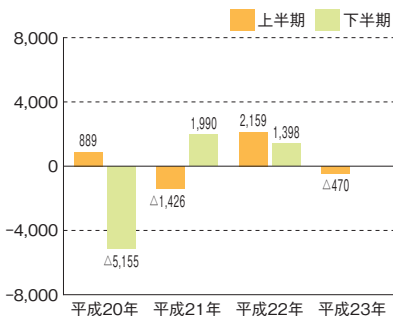
#### ■営業利益

(単位:百万円)



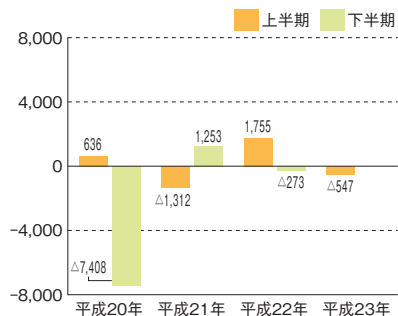
#### ■経常利益

(単位:百万円)



#### ■四半期純利益

(単位:百万円)



## 事業別の概況

### ダイカスト事業

#### ① ダイカスト事業 日本

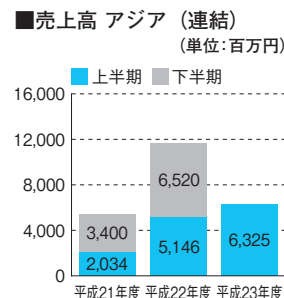
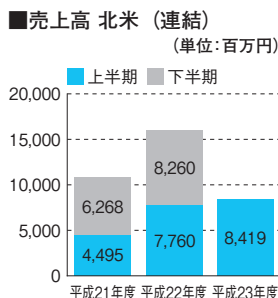
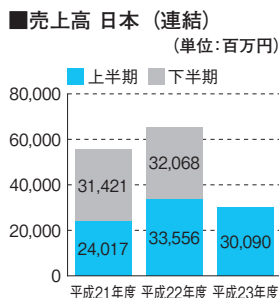
国内では、主要販売先である自動車業界において、東日本大震災の影響により大幅に自動車生産が減少しました。その後、生産体制の早期回復および生産の挽回に努めたものの、需要および生産が減少しました。当社においても、それらの影響を受けて受注が減少したことにより、売上高は30,090百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。収益面においては、受注の減少による影響等により、セグメント利益は299百万円（前年同四半期比73.8%減）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響で主要顧客からの受注が減少したものの、上期後半には受注増加傾向となったことにより、売上高は8,419百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。収益面においては、米国での受注減少による影響に加え、メキシコでの受注増への対応の遅れを挽回するための費用が発生したこと等により、セグメント損失は425百万円（前年同四半期はセグメント利益740百万円）となりました。

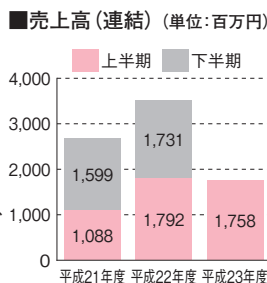
#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、引き続き旺盛な自動車販売状況の下、当社においても新規製品の供給が始まったこともあり、受注は高水準で推移しました。インドでは、ガソリン高による自動車販売低迷や東日本大震災等による減産の影響があったものの、新規製品の立ち上がりにより受注が拡大し、アジアでの売上高は6,325百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。収益面においては、中国での労務費等の原価高の影響、育成過程にあるインドの影響等により、セグメント損失は312百万円（前年同四半期はセグメント利益477百万円）となりました。



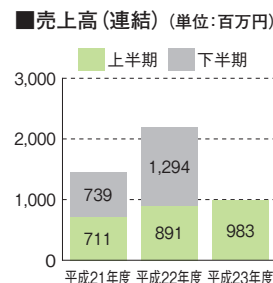
### アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で3.9%減となったことにより、売上高は1,758百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。収益面においては、原価低減活動を図ったものの、原材料価格の上昇により、セグメント損失は23百万円（前年同四半期はセグメント利益8百万円）となりました。



### 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のリニューアル物件の受注や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は983百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。収益面においては、価格競争の激化により、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。



## 四半期連結財務諸表

## Consolidated Quarterly Financial Statements

## ■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
流 動 資 産	40,508	40,530	流 動 負 債	39,152	35,775
現金及び預金	5,718	9,179	支払手形及び買掛金	17,219	18,571
受取手形及び売掛金	22,491	20,254	短期借入金	5,147	3,910
商品及び製品	3,023	2,717	1年内返済予定の長期借入金	8,146	6,990
仕掛品	3,763	3,542	未払法人税等	295	364
原材料及び貯蔵品	2,894	2,903	賞与引当金	1,232	1,225
その他	2,619	1,933	その他	7,111	4,713
貸倒引当金	△ 1	△ 1	固 定 負 債	24,838	23,616
固 定 資 産	56,319	53,268	長期借入金	16,675	14,950
有形固定資産	50,884	46,284	退職給付引当金	3,722	3,587
建物及び構築物（純額）	9,741	9,486	事業構造改善引当金	1,120	1,220
機械装置及び運搬具（純額）	22,863	21,318	負ののれん	-	54
土地	5,715	5,746	その他	3,318	3,803
建設仮勘定	8,845	6,333	負 債 合 計	63,990	59,391
その他（純額）	3,717	3,399	純資産の部		
無形固定資産	756	543	株 主 資 本	37,494	38,066
投資その他の資産	4,679	6,440	資 本 金	5,117	5,117
投資有価証券	4,175	6,052	資本剰余金	8,359	8,363
その他	504	388	利益剰余金	24,338	24,943
貸倒引当金	△ 1	△ 1	自己株式	△ 320	△ 358
資 産 合 計	96,828	93,799	その他の包括利益累計額	△ 4,725	△ 3,740
			その他有価証券評価差額金	1,114	1,680
			繰延ヘッジ損益	-	△ 16
			為替換算調整勘定	△ 5,839	△ 5,404
			新 株 予 約 権	67	81
			純 資 産 合 計	32,837	34,407
			負 債 純 資 産 合 計	96,828	93,799

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## ■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	47,577	49,146
売上原価	43,105	42,324
売上総利益	4,471	6,821
販売費及び一般管理費	4,892	4,517
営業利益又は営業損失(△)	△ 421	2,304
営業外収益	311	251
受取利息	21	5
受取配当金	53	45
負のれん償却額	54	55
為替差益	82	-
その他	98	145
営業外費用	360	395
支払利息	312	251
為替差損	-	112
その他	47	32
経常利益又は経常損失(△)	△ 470	2,159
特別利益	2	143
固定資産売却益	2	2
退職給付制度改定益	-	141
特別損失	89	100
固定資産除売却損	57	51
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	48
退職給付制度改定損	22	-
その他	10	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 558	2,202
法人税、住民税及び事業税	451	420
法人税等調整額	△ 462	26
法人税等合計	△ 10	446
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 547	1,755
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 547	1,755

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 468	7,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,509	△ 4,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,110	△ 1,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 189	△ 174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,057	1,615
現金及び現金同等物の期首残高	9,179	5,267
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,275	6,882

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## トピックス

### Topics

#### 中国広州アーレスティ隣接地使用权取得 工場拡張し生産能力増強

当社子会社である広州阿雷斯提汽车配件有限公司（広州アーレスティ）は、2004年に操業を開始し、順調に成長してまいりました。このたび、第1工場の隣接地（21,000㎡）使用权を取得し、工場の拡張により合理的な生産ラインの敷設と生産能力の増強が可能となりました。なお、この拡張により現在の鑄造能力に対しておよそ30%の能力増強を見込んでおります。

今後も旺盛なダイカスト需要を取り込むため、生産能力の拡充と効率的な生産を目指し取り組んでまいります。

#### 広州アーレスティの概要

所在地 中国 広東省広州経済技術開発区永和経済区

総敷地面積（第1工場） 64,000㎡（新規取得分を含む）

（第2工場） 17,700㎡

総床面積（第1工場） 54,000㎡（拡張後予定）

（第2工場） 10,000㎡

2012年度生産能力（計画）

ダイカストマシン：33台予定（現在25台稼働）

機械加工ライン：63ライン予定（現在54ライン稼働）

今後の設備投資額（計画）

2011年度 33億円

2012年度 30億円



広州アーレスティ第1工場

## 株式情報・会社の概要

### Stock Information・Corporate Information

#### ■株式状況 (平成23年9月30日現在)

##### ● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,517名

#### ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,082	5.0
高橋 新	915	4.2
(株)三菱東京UFJ銀行	765	3.5
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	677	3.1
本田技研工業(株)	672	3.1
日本軽金属(株)	657	3.0
モルガンスタンレーアンドカンパニーエルエルシー	630	2.9
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT	597	2.7
ザルカオブニューヨークジャスティックリトリブーアガント	592	2.7
スズキ(株)	565	2.6
計	7,158	33.1

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示してあります。  
2. 持株比率は自己株式(213,715株)を控除して計算しております。

#### ■会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数(単独)	1,010名

##### 企業集団の従業員の状況

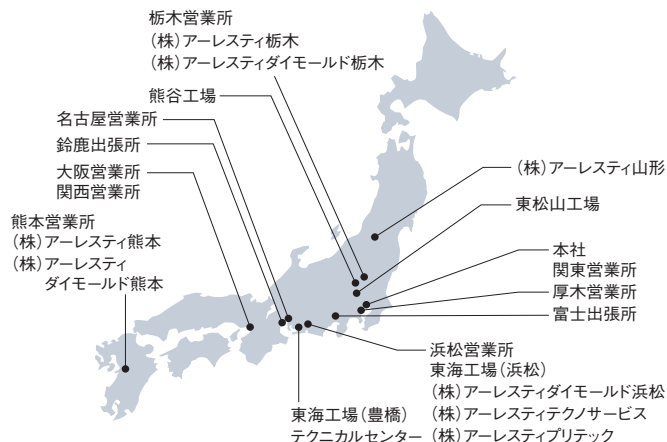
	従業員数
ダイカスト事業日本	2,077名
ダイカスト事業北米	1,693名
ダイカスト事業アジア	2,082名
アルミニウム事業	51名
完成品事業	30名
全社(共通)	211名
計	6,144名

#### 取締役および監査役 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋	新
取締役	古屋	茂
取締役	石丸	博
取締役	野中	賢一
社外取締役	宮内	一
常勤監査役	熊木	勉
常勤監査役	見目	康夫
社外監査役	早乙女	唯夫
社外監査役	志藤	昭彦

#### ■事業拠点一覧 (平成23年9月30日現在)

##### 国内ネットワーク



##### 海外ネットワーク



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ahresty.co.jp">http://www.ahresty.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



当社ホームページ  
<http://www.ahresty.co.jp>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様様に最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

## Research Service Technology

株式会社 **ア-レスティ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F  
TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037  
URL: <http://www.ahresty.co.jp>



ISO14001:2004認証取得

EMS Registration  
JUSE-EO-048

本社、東海工場(浜松)、東海工場(豊橋)、東松山工場、熊谷工場、テクニカルセンター、株式会社ア-レスティ栃木、株式会社ア-レスティ熊本、株式会社ア-レスティ山形、株式会社ア-レスティブリテック、株式会社ア-レスティタイモールド浜松、株式会社ア-レスティタイモールド栃木、株式会社ア-レスティタイモールド熊本



ISO9001:2008認証取得

JQA-QMA14412  
本社(但し、商品営業部を除く)、テクニカルセンター、東海工場(浜松)、東海工場(豊橋)、東松山工場、熊谷工場、株式会社ア-レスティ栃木、株式会社ア-レスティ熊本、株式会社ア-レスティ山形、株式会社ア-レスティブリテック



ISO9001:2008認証取得

JUSE-RA-057  
商品営業部及び関連組織



ISO9001:2008認証取得

JUSE-RA-057  
商品営業部及び関連組織



ISO9001:2008認証取得

JUSE-RA-057  
商品営業部及び関連組織



ISO9001:2008認証取得

JUSE-RA-057  
商品営業部及び関連組織

